



展示室開室スケジュール

●令和5年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧いただけます。

3F	5月	6月	7月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第1期 ～3月8日(月) ● 5月19日(金)～	第2期	7月24日(月) ●
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第1期	～7月3日(月) ●	7月14日(金)～ 第2期 ●
特別展示室 企画展	知られざる土佐古代塗 ～5月19日(金) ●	6月23日(金)～	今年はうさぎ年! 大やまびよんまつり ～9月4日(月) ●

城博講座(5月～7月)

5月

13日(土)
古文書講座「古文書解読入門」
第1回 古文書を「見る」から「読む」へ
講師／藤田雅子(当館歴史担当学芸員)

27日(土)
美術工芸講座「交わる美術」
第1回 和と漢のはざまで一書と画—
講師／尾本師子(当館美術工芸担当学芸員)

6月

10日(土)
歴史講座「歴史のなかの高知城」
第1回 土佐藩政の始まりと高知城の築城
講師／横山和弘(当館歴史担当学芸員)

7月

8日(土)
古文書講座「古文書解読入門」
第2回 拾い読みから始めましょう
講師／藤田雅子(当館歴史担当学芸員)

15日(土)
保存修復講座
「文化財を守る伝統の技と人々」
第1回 文化財修理を支える伝統技術
講師／田井東浩平(当館保存担当学芸員)

22日(土)
美術工芸講座「交わる美術」
第2回 機能と美—南蛮服飾と戦衣—
講師／丸塚花奈子(当館美術工芸担当学芸員)

会場／当館1階ホール 時間／10:00～11:30 定員／60名 参加費／無料 申込み／不要(当日先着順)

お得な年間観覧券が オススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券／2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度も ご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典がついた会員制度です。

年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

年間 500円

友の会、情報会員の
詳細はこちら



開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は開館30分前まで

休館日 年末 (12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金

◆企画展開催期間中…700円

◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円

◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

高知城博 検索

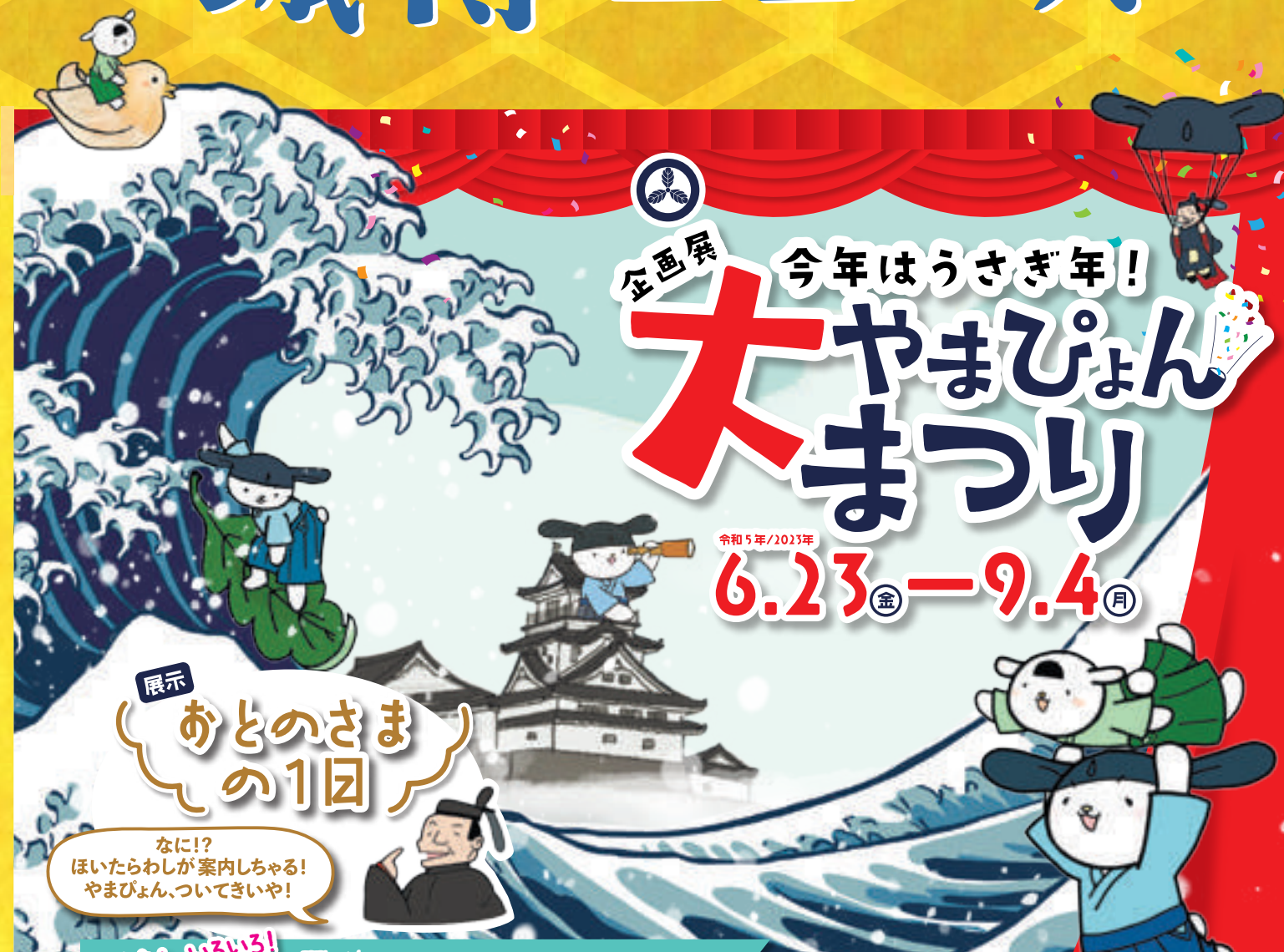


発行日／令和5年(2023)5月24日 編集・発行／高知県立高知城歴史博物館 印刷／共和印刷株式会社

高知県立 高知城歴史博物館 情報誌

Volume 21 2023 夏

城博ニュース



企画展

今年はうさぎ年!

大やまびよん
まつり

令和5年/2023年

6.23(金)～9.4(月)

展示

おとのさま
の1日

なに!?
ほいたらわしが案内しちゃう!
やまびよん、ついてきや!

もよおし いろいろ! 夏休み子どもむけイベント

1 わくわく探検! 高知城
おとのさまがすんでいた、お城をたんけんしよう!
ふだん見られない所にも入れるよ。

日時 7月23日(日) 9:00～11:30
にんずう 小学生15人まで 集まる所 1かい ホール 要申込
おかね 0円 ※同伴の保護者で高知城懐徳館に入館される方は
利用料(420円)が必要です。

3 夏休み工作教室
「型染」でオリジナルバッグを
つくってみよう!

日時 8月5日(土) 10:00～11:30
にんずう 小学生12人まで ばしょ 1かい 実習室 要申込
おかね 800円

2 自由研究おうえんきかく
寺子屋 じょうはく

みんなの「知りたい」をおうえん! 歴史のしつものに、
学芸員(はかせの次くらいにくわしい人)がこたえます。

日時 7月29日(土)、8月6日(日)
それぞれ9:00～12:00、13:00～16:00

ばしょ 3かい ロビー ※きゅうに来てほしいようぶだけれど、とても知りたい、
かならず聞きたいことがある人は、先に電話してください。

4 わくわく! 体験コーナー!

刀やかぶと、ほかにもいろんな昔の道具がもりだくさん!
かぶって、持って、おとのさまになりきろう!

日時 7月29日(土)、8月6日(日)、8月20日(日)
それぞれ9:00～12:00、13:00～16:00

★1と3は申込が必要です

申込方法

受付または電話・FAX・ハガキで住所・氏名・学年・電話番号をお知らせください。整理券をお送りします。
(希望者多数の場合は抽選となります。) 申込〆切:①7月17日(月・祝)、③7月29日(土)

うさぎみみなりのかぶと 兎耳形兜

山内家資料の特色に、貝や蝶、帽子など、多様なデザイン「変わり兜」が充実していることが挙げられます。中でも印象的な逸品といえば、大きな兎の耳を張懸で表した、この兜でしょう。

戦国時代末期に登場した「当世貝足」では、戦場に在って自身を周囲に印象づけるため、あるいは死地に立つ自らを奮い立たせるため、奇抜なデザインのものがしばしば作られました。本資料もそうした流れを汲むものです。理屈はさておき、誰もがこれをかぶった姿はどうなるのか、気になるのではないのでしょうか。そんな興味から生まれたのが、「やまびよん」です。



(誕生当時のやまびよん)

四代藩主山内豊昌所用／作者不詳
江戸時代(17-8世紀) 一頭
外鉢高20.5・鉢前後径24.6・
鉢左右径20.6cm／重さ1500g

の割れ目をなくしました。その時だけの使い切りのはずだったのですが、当時の「ゆるキャラ」ブームも追い風となり、なんと年で16年。今年2度目の卯年を迎えました。

やまびよんが長く活躍できたのも、ひとえに時代を超えて人の心を捉える、兎耳形兜の造形の力によるもの。普段はレプリカでの展示ですが、実物公開の機会には、ぜひじっくりと本物の魅力に触れて下さい。

(資料学芸課長 藤田雅子)

活動レポート

開館6周年「城博の日」開催 イベント



去る3月4日・5日の2日間、開館6周年記念行事「城博の日」を開催しました。本行事は毎年3月に開催しているもので、1年前の本誌では「来年こそは皆さまと賑やかに」記念行事を開催できることを願う旨を綴っていましたが、実に4年ぶりにコロナ前と同じ規模での開催が実現できました。

館内では館長による記念講座、資料学芸課による展示の楽しみ方ミニ講座とバックヤードツアーおよび資料保存技術の体験会、教育普及課による変わり兜や刀を身につけたり「貝合わせ」体験などができる体験コーナー、地域企画課による歴史資料の取り扱い体験コーナーなど各課各職員総出で特別企画を行いました。

屋外スペースでは、記念ステージとして、太鼓芸術家日ノHayato氏による記念演奏会をはじめ、吾北清流太鼓一番風や正曲一絃琴白鷺会による演奏、土佐直伝英信流の皆さんと日本抜刀道連盟興武館による居合と抜刀術の実演披露、さらに大月町郷土芸能伝承保存会、大砂子獅子舞保存会、若一王子獅子舞若連中の皆さんによる獅子舞踊りの実演披露会なども行いました。また、国史跡山内家墓所の特別公開も記念行事の一つとして行いました。両日も観覧料無料に加えて来館記念品もご用意しました。

オープン時を除けば開館以降最も多くの方にご来館いただいた2日間となり、3年間の活動制限を経た博物館へ再び大きな賑わいが戻ったことを実感しました。これを皮切りに今年度予定している様々な行事が、コロナ前のように多くの方々とともに開催できることを願っています。

総務課 広報 大保和巳

企画展「知られざる土佐古代塗」特別講演会 講演会

展覧会開始後間もない4月2日(日)、塗師の池田泰一さんをお招きして特別講演会を開催しました。

土佐古代塗は、明治22年(1889)頃高知で創始された漆器です。朱と黒の深い色合い、ザラザラとした岩肌のような地にステンシルで文字をあしらうという独特の作風、日常使いに適した「日本最強」の丈夫さを特徴としています。高知の引き出物、ノベルティの定番ともなり、企業が少なくとも2社、工房も複数存在しましたが、現在は池田泰一さんが唯一の継承者です。

講演会では、43年前、池田さんが古代塗の道に入ってから現在に至るまでの、御自身の歩みや古代塗を取り巻く状況、未来への展望などをお話いただきました。また製品や試作品、道具や材料をご持参いただき、来場者実際に触って貰いながら、活発な質疑にもお応えいただきました。

生活の変化に伴い、伝統的な食器が使われなくなり、また材料や道具などの入手が困難となっていく厳しい状況の中、これからも伝統的な材料・技法を堅持しつつ新しい製品の模索を続けていきたいという池田さんの言葉に、会場からは大きな拍手が起きました。講演会終了後も池田さんの今後のご活躍と古代塗の存続・発展を願う声が多く寄せられました。

当館では今後とも古代塗始め土佐の伝統工芸品について微力ながら発信を続けていく予定です。

資料学芸課 主任学芸員 尾本師子



この夏、ジョーハクがやまびよんでいっぱい!

今年はおうさぎ年!

企画展

やまびよん 大まつり

令和5年/2023年

6.23(金) - 9.4(月)

会期中無休



こどもはただ
※高校生以下観覧無料

「やまびよん」は、土佐藩主山内家に伝わった「兎耳形兜」をモチーフにした高知城歴史博物館(ジョーハク)のキャラクターです。2023年はうさぎ年、やまびよん飛躍の年。おとのさまの一日をやまびよんと一緒に見学する企画展をはじめ、音声ガイドやワークシートなどにも登場。城博全体をやまびよんがご案内します。

山内家の
きょうなアイテムが
たくさん!

展示室では
こんなものが
見られます



鴛鴦水滴

(おしどりすいてき)

「おしどり」という鳥の形をした文房具。墨(すみ=ペンのインク)の濃さを調整するための水を入れておくよ。



三人形蓋置

(みつにんぎょうふたおき)

お茶道具のひとつで、お湯をわかした釜(かま)のふたを置く時に使うよ。3人の唐子(からこ=中国の子供)が外向きに手をつないでいる形をしている。



7代藩主山内豊常筆
雪景山水

(ななだいはんしゅやまうちとよつねひつせつけいさんすい)

おとのさまが、たぶん今の中学生くらいのころにかいた絵。ほかにいろいろな習い事をしてたよ。

なに!?
ほいたらわしが
案内しちゃる!
やまびよん、
ついてきいよ!



展示

おとのさま
の1日

土佐藩主(おとのさま)の1日を、パネルとむかしの資料でごしょうかい。どんな毎日すごしていたのか、のぞいてみよう!

もっと楽しむ

展示も アイテム

- 企画展限定音声ガイド
- 館内クイズラリー
じょうはくクイズラリー
- 展示室でたからさがし
さがしてビンゴ!やまうちファミリー

★ほかにたくさんの企画を準備中!
ホームページ・SNSのおしらせもチェックしてね。

Quiz!

要観覧券
記念品プレゼントは
高校生以下

Bingo!



総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室

1 第2期 5月19日(金)~7月24日(月)

ピックアップ 山内容堂書翰貼交のうち
大根戯画

土佐藩の歴史

幕末維新のコーナーでは、山内容堂が描いた大根戯画を展示します。大地にしっかりと根を張る大根のように、幕府にも倒れないでほしいものだという願いが込められたこの逸品の他、幕末土佐藩の立場や方針を示す資料を紹介しします。



総合展示室

2 第1期 4月28日(金)~7月3日(月)

ピックアップ 植物へのまなざし
~植物学前夜~

大名道具と
土佐の文化

「日本植物学の父」牧野富太郎は、長い歴史の中で積み重ねられてきた植物知識と、目の前にある植物との間に、近代植物学の方法で一つ一つ橋を架け続けた人です。このミニコーナーでは、橋の向こう側、近代以前の植物知識をのぞいてみましょう。

